
2024年度第3四半期決算 および
2024年度業績見通し

説明資料

帝人株式会社

2025年2月6日

1. 2024年度第3四半期決算
2. 2024年度業績見通し
3. ガバナンス体制の強化
4. 参考資料
 - ✓ IFRSの任意適用について
 - ✓ 財務健全性・株主還元方針
 - ✓ 前提（市場動向、損益影響要因）
 - ✓ 2024年度第3四半期実績・業績見通しデータ
 - ✓ 主要経営指標推移・主要医薬品 国内売上高実績推移
 - ✓ ESG外部評価

本資料に関するご注意

当資料は、任意適用である監査法人によるレビューを受けていない四半期連結財務諸表を基に作成しております。

記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2025年2月6日11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。

1. 2024年度第3四半期決算

- ✓ 実績サマリー
- ✓ セグメント別事業利益増減分析
- ✓ 金融収益および費用、非経常項目
- ✓ 財政状況、キャッシュフローの状況

◆実績サマリー（前年同期比）

- 売上収益は473億円の増収、事業利益は82億円の増益、ROICは2.9%に改善
- インフォコム株式の売却完了に伴い、四半期利益は403億円の増益

	(億円)			
	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率
売上収益	7,088	7,561	+473	+6.7%
事業利益	175	256	+82	+46.7%
金融収益および費用	-50	-45	+5	-
非経常項目	-62	-651 ^{*3}	-589	-
その他	45	950 ^{*4}	+905	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	107	510	+403	+376.6%
ROE ^{*1}	3.6%	15.6%	+12.1%	-
ROIC ^{*2}	1.8%	2.9%	+1.0%	-

PL換算レート	円／米ドル	143	153
	円／ユーロ	155	165
原油(Dubai)価格 (米ドル／バレル)		82	79
欧州天然ガス価格 (ユーロ／MWh)		37	37

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分

*2 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出
(投下資本=資本+有利子負債)

*3 複合成形材料の北米事業減損損失 (2Q) 等

*4 インフォコム株式の売却益 (1,021億円) (3Q) や法人所得税等

◆実績サマリー セグメント別（前年同期比）

■ 売上収益：マテリアル、繊維・製品等が牽引し473億円の増収

■ 事業利益：マテリアルでの複合成形材料の収益性改善効果の追加発現に加え、樹脂の販売量増加や、繊維・製品での販売好調等により82億円の増益

(億円)

	売上収益				事業利益			
	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率
マテリアル	3,213	3,424	+211	+6.6%	-13	19	+32	-
繊維・製品	2,398	2,662	+264	+11.0%	100	151	+52	+51.9%
ヘルスケア	1,071	1,042	-28	-2.7%	128	80	-47	-36.9%
その他	407	433	+27	+6.6%	9	67	+59	+683.3%
消去又は全社	-	-	-	-	-48	-61	-13	-
合計	7,088	7,561	+473	+6.7%	175	256	+82	+46.7%

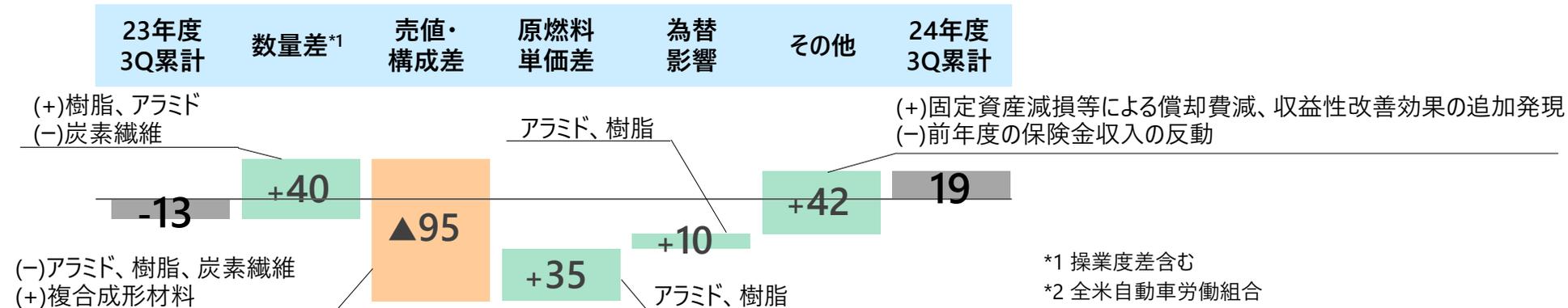
◆セグメント別事業利益増減分析 マテリアル（前年同期比）

◆ 売上収益：3,424億円（前年同期比+211億円）、事業利益：19億円（前年同期比+32億円）

■ 複合成形材料での収益性改善効果の追加発現および樹脂の販売量増加等により増益

< 事業利益増減内訳 >

（億円）



事業利益増減要因

	アラミド	樹脂	炭素繊維	複合成形材料
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 自動車用途、防弾・防護用途での販売伸長 原燃料価格低下 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 事務機用途を中心とした顧客在庫調整の緩和 燃料価格低下 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 航空機・レクリエーション用途 	<ul style="list-style-type: none"> 収益性改善効果の追加発現（販売価格等）および一時的要因（設備故障・UAW*2ストライキ影響等）からの復旧 IFRS適用および上期末固定資産減損等による償却費減 赤字事業の譲渡（中国）
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格低下 原燃料価格低下および競争激化（光ファイバー用途）影響 インフレに伴う労務費高騰等 前年度の保険金収入の反動 	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格低下（スプレッドは悪化） 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量減少 一般産業用途 販売価格低下 一般産業・レクリエーション用途 生産減に伴う操業度悪化 生産調整、計画外メンテナンス休止 	<ul style="list-style-type: none"> インフレに伴う労務費高騰等

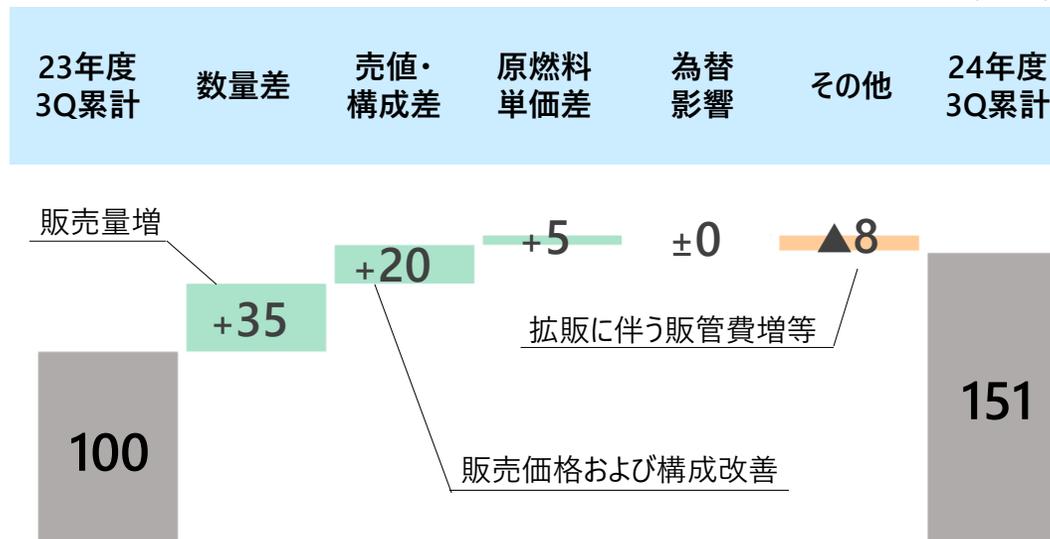
◆セグメント別事業利益増減分析 繊維・製品（前年同期比）

◆ 売上収益：2,662億円（前年同期比+264億円）、事業利益：151億円（前年同期比+52億円）

■ 衣料繊維分野、産業資材分野ともに販売好調

< 事業利益増減内訳 >

(億円)

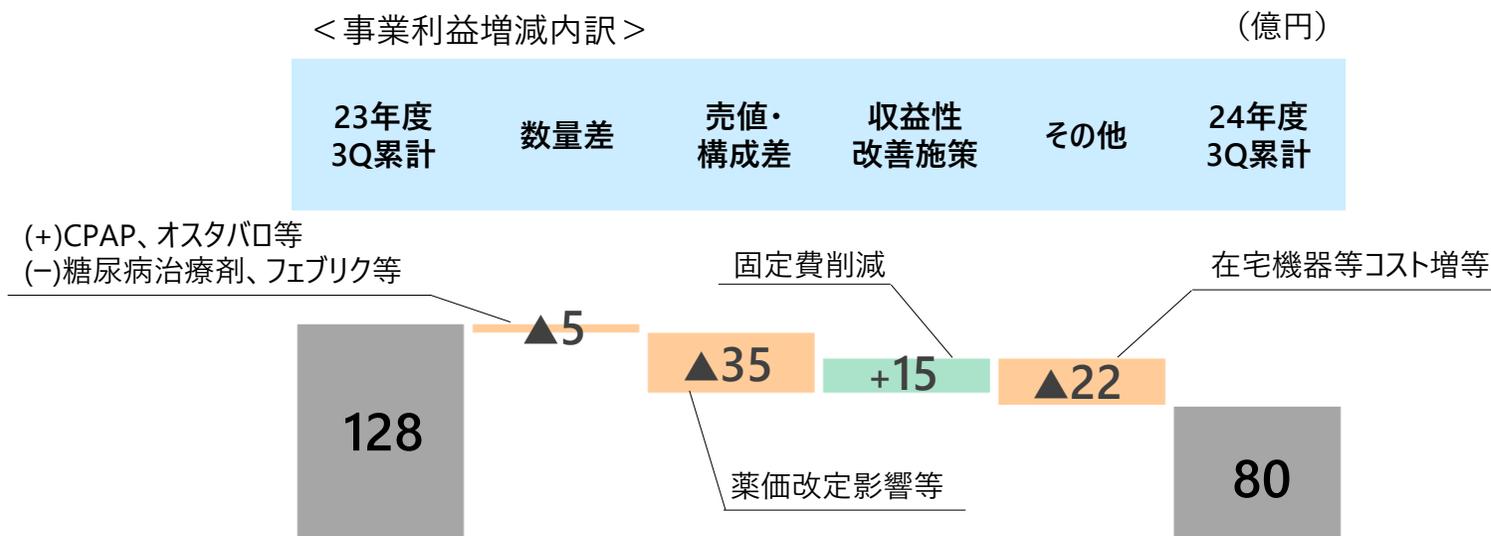


事業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 衣料繊維：北米や中国向けテキスタイル・衣料品、国内向け衣料品 産業資材：水処理フィルター向けポリエステル短繊維、人工皮革、生活雑貨 販売価格改定および販売構成改善
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 拡販に伴う販管費増加等

◆セグメント別事業利益増減分析 ヘルスケア（前年同期比）

◆ 売上収益：1,042億円（前年同期比▲28億円）、事業利益：80億円（前年同期比▲47億円）

■ CPAPレンタル台数、オスタバロ販売量が増加も、医薬品薬価改定や在宅医療での消耗品コスト増等の影響により減益



事業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none"> CPAPレンタル台数増加 検査数増加に伴う新規処方件数の拡大 オスタバロ販売量増加 収益性改善施策：固定費削減
(-)	<ul style="list-style-type: none"> 薬価改定による影響 CPAP新機台投入、消耗品使用量増加に伴うコスト増 医薬品販売量減少 糖尿病治療剤 フェブリック等（後発品浸透加速影響）

◆セグメント別事業利益増減分析 その他（前年同期比）

◆ 売上収益：433億円（前年同期比+27億円）、事業利益：67億円（前年同期比+59億円）

■ 電池部材・膜ブレン部門および再生医療・埋込医療機器部門での販売好調等による増益

事業利益増減要因	
(+)	<ul style="list-style-type: none">販売好調 電池部材・膜ブレン部門および埋込医療機器持分法損益の改善
(-)	<ul style="list-style-type: none">事業拡大に伴う立ち上げ等の費用増加 再生医療・埋込医療機器部門

◆ 金融収益および費用、非経常項目（前年同期比）

◆ 金融収益および費用

- 支払利息の減少等によりやや改善

	(億円)		
	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異
受取利息	19	22	+3
受取配当金	7	4	-3
為替差益	-	10	+10
デリバティブ評価益	62	-	-62
その他	1	6	+5
金融収益 計	89	43	-47
支払利息	-96	-81	+15
為替差損	-35	-	+35
デリバティブ評価損	-5	-5	+1
その他	-4	-2	+1
金融費用 計	-140	-88	+52
金融収益および費用 計	-50	-45	+5

◆ 非経常項目

- 複合成形材料の北米事業の減損損失計上(2Q)等により悪化

	(億円)		
	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異
固定資産売却益	2	4	+2
受取保険金	58	-	-58
固定資産処分損	-6	-16	-9
減損損失	-86 ^{*1}	-591 ^{*2}	-506
災害による損失	-18	-	+18
その他	-12	-48 ^{*3}	-36
非経常項目 計	-62	-651	-589

*益プラス表示、損マイナス表示

*1 複合成形材料の中国事業減損損失等

*2 複合成形材料の北米事業減損損失等

*3 早期退職優遇制度に係る特別退職金含む

◆ 財政状況（前年度末比）、キャッシュフローの状況（前年同期比）

◆ 財政状況

- 総資産は概ね前年度末並み
インフォコム株式の売却による現預金増加を固定資産の減少（複合成形材料の北米事業の減損）等で概ね相殺
- 負債は前年度末比減少
IT事業の離脱影響（インフォコム株式の売却）

	24年 3月末	24年 12月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	12,266	12,193	-73	+141
負債	7,899	7,526	-373	+70
（内 有利子負債）	5,169	5,164	-5	+48
資本	4,368	4,667	+300	+71
D/Eレシオ ^{*1}	1.26	1.12	-0.14	-
D/Eレシオ （資本性調整後） ^{*2}	1.11	0.99	-0.11	-

*1 「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出（グロス表示）

*2 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

◆ キャッシュフローの状況

- インフォコム株式の売却により投資活動によるキャッシュフローが増加

	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異
営業活動	367	408	+41
投資活動	-501	592	+1,092
フリー・キャッシュ・フロー	-134	1,000	+1,134
財務活動他	277	-136	-413
現金及び現金同等物増減	144	864	+720

< BS換算レート >

	24年 3月末	24年 12月末
円／米ドル	151	158
円／ユーロ	163	165

2. 2024年度業績見通し

- ✓ 通期業績見通しサマリー
- ✓ セグメント別事業利益増減分析サマリー
- ✓ セグメント別事業利益増減分析

◆ 通期業績見通しサマリー（前年度比、前回見通し比）

- 前年度比：売上収益は495億円の増収、事業利益は60億円、当期利益は367億円の増益見込み
- 前回見通し比：売上収益、事業利益、当期利益は据え置き。配当は前回見通し（前年度比20円の増配）から変更なし

(億円)

	23年度 実績	24年度 見通し	差異	増減率	24年度 前回見通し*1	差異	増減率
売上収益	9,605	10,100	+495	+5.2%	10,100	0	0.0%
事業利益	220	280	+60	+27.5%	280	0	0.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-117	250	+367	-	250	0	-
ROE	-2.9%	6%	+9%		6%	0%	
ROIC	1.8%	3%	+1%		3%	0%	
D/Eレシオ	1.26	0.9	-0.4		1.0	-0.0	
D/Eレシオ（資本性調整後）*2	1.11	0.8	-0.3		0.8	-0.0	
1株当たり配当（円）	30	50	+20		50	0	
配当性向	-	39%	-		39%	-	

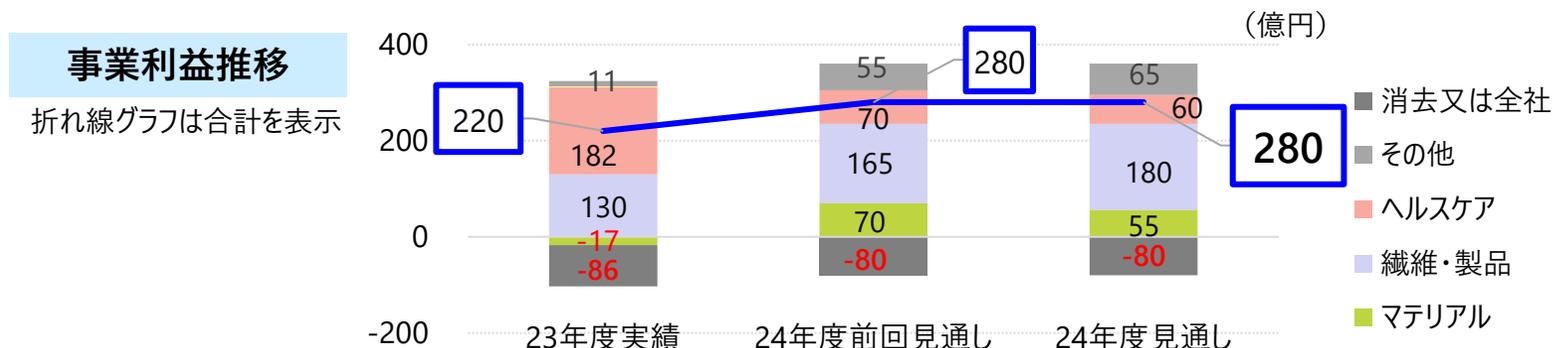
PL換算レート	円／米ドル	145	152
	円／ユーロ	157	163
原油(Dubai)価格（米ドル／バレル）		82	78
欧州天然ガス価格（ユーロ／MWh）		35	40

*1 2024年11月7日公表

*2 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

◆ セグメント別事業利益増減分析サマリー（前年度比、前回見通し比）

- 前年度比：複合成形材料での収益性改善効果の追加発現や減損による償却費減少および繊維・製品での販売好調による増益が、ヘルスケアのライセンス対価収入の減少や薬価改定等による減益を相殺し、全体では増益を見込む
- 前回見通し比：マテリアルの販売量減少やヘルスケアにおける後発品浸透加速等に伴う想定以上の医薬品販売量減少を繊維・製品での販売量増で相殺し、全体では据え置き



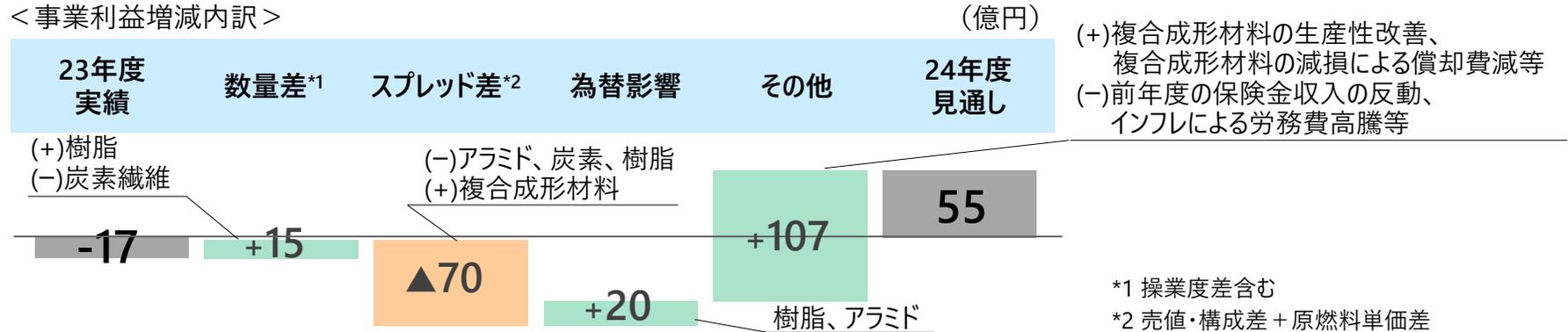
セグメント	事業利益の増減 (億円) ・要因			
	前年度比 (売上収益+495億円 事業利益+60億円)		前回見通し比 (売上収益±0億円 事業利益±0億円)	
マテリアル	+72	(+)収益性改善効果の追加発現 (販売価格等) および一時要因 (設備故障、UAWストライキ影響) からの復旧 (複合) (+)減損による償却費減少 (複合) (+)数量 (操業度差含) 増 (樹脂) (-)販売価格低下 (アラミド、樹脂、炭素) (-)前年度保険金収入の反動 (アラミド)	▲15	(-)数量 (操業度差含) 下振れ (アラミド、炭素) (+)追加的コスト削減 (炭素)
繊維・製品	+50	(+)衣料繊維、産業資材の販売量増加、販売価格改定等	+15	(+)衣料繊維の販売量上振れ等
ヘルスケア	▲122	(-)ライセンス対価収入の減少 (-)医薬品薬価改定・後発品浸透加速影響 (-)在宅コスト増 (CPAP新機台投入、消耗品使用量増加) 等	▲10	(-)後発品浸透加速等による想定以上の医薬品の販売量下振れ
その他	+54	(+)電池部材・膜部門および埋込医療機器の販売好調等	+10	(+)電池部材・膜部門：販売上振れ等

◆セグメント別事業利益増減分析 マテリアル（前年度比、前回見通し比）

◆ 売上収益：4,650億円（前年度 4,392億円、前回見通し 4,700億円）、事業利益：55億円（前年度 -17億円、前回見通し 70億円）

- 前年度比：複合成形材料での収益性改善および減損による償却費減少、樹脂での販売量増加等により前年度比増益を見込む
- 前回見通し比：樹脂の販売量は上振れも、アラミド、炭素繊維における操業度を含む数量減少により減益を見込む

< 事業利益増減内訳 >



サブセグメント	事業利益の方向・要因	
	前年度比（売上収益+258億円 事業利益+72億円）	前回見通し比（売上収益▲50億円 事業利益▲15億円）
アラミド	(-) 原燃料価格低下および競争激化（光ファイバー用途）に伴う販売価格低下（スプレッド差） (-) 前年度の保険金収入の反動（その他） (±) 自動車向け用途を中心に販売量増加、但し生産量は減少（数量差）	(-) 緩慢な需要回復による生産・販売量下振れ（数量差）
樹脂	(+) 事務機用途を中心とした顧客在庫調整の緩和（数量差） (-) 競争激化に伴う販売価格低下（スプレッド差）	(+) 事務機用途での顧客需要上振れ（数量差）
炭素繊維	(+) 航空機・レクリエーション用途での販売量増加（数量差） (-) 生産調整、計画外メンテナンス休止等に伴う操業度悪化（数量差） (-) 競争激化に伴う販売価格低下（スプレッド差）	(+) 生産調整に合わせた追加的コスト削減等（その他） (-) 販売量下振れと生産調整等に伴う操業度悪化等（数量差）
複合成形材料	(+) 収益性改善効果の追加発現（販売価格等）および一時的要因（設備故障、UAWストライキ影響）からの復旧（スプレッド差、その他） (+) IFRS適用および上期末固定資産減損による償却費減少（その他）	前回見通しから変更なし

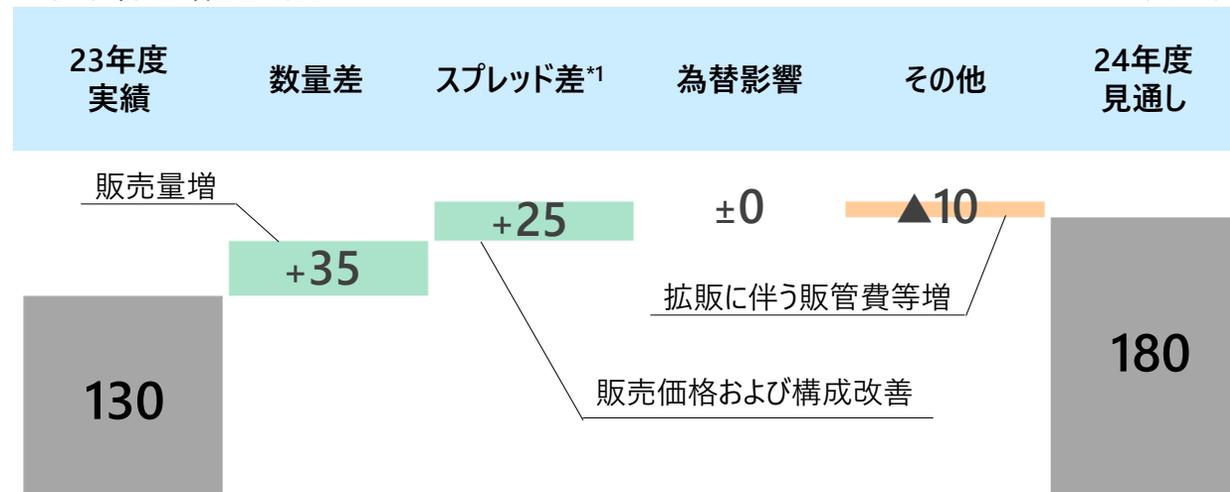
◆セグメント別事業利益増減分析 繊維・製品（前年度比、前回見通し比）

◆ 売上収益：3,550億円（前年度 3,217億円、前回見通し 3,450億円）、事業利益：180億円（前年度 130億円、前回見通し 165億円）

- 前年度比：衣料繊維分野、産業資材分野での増販等により増益を見込む
- 前回見通し比：衣料繊維分野での需要上振れ等により増益を見込む

< 事業利益増減内訳 >

（億円）



素材開発から製造・加工、販売まで行う一気通貫のバリューチェーンを基盤に顧客ニーズへの対応力（スピード、安定供給等）を強化し収益を拡大

*1 売値・構成差 + 原燃料単価差

事業利益の増減（億円）・要因

前年度比（売上収益+333億円 事業利益+50億円）

前回見通し比（売上収益+100億円 事業利益+15億円）

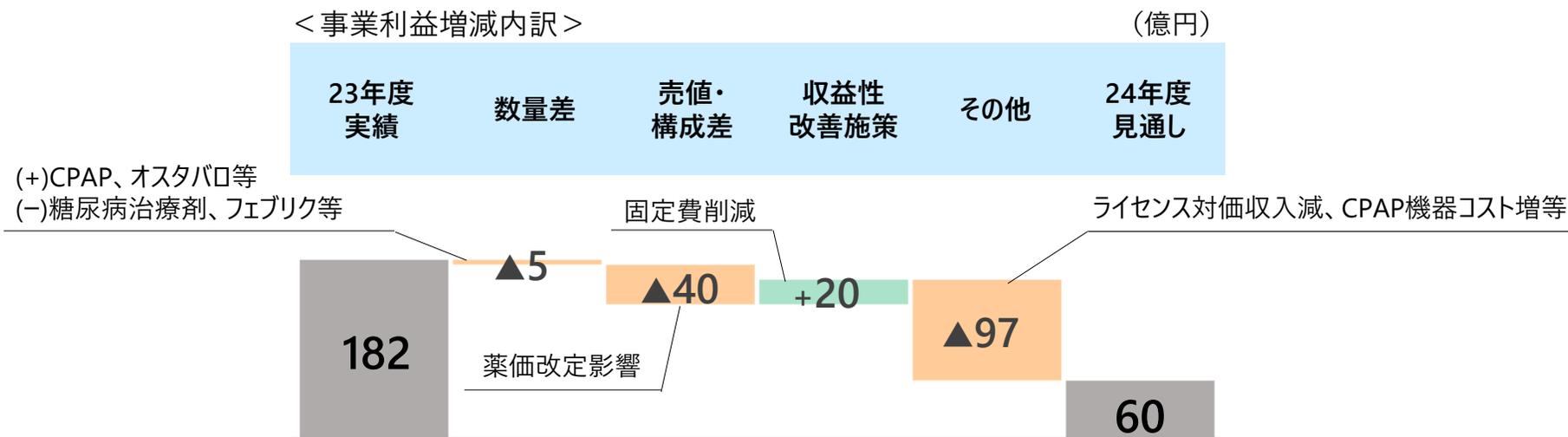
- +50
- (+)衣料繊維：北米や中国向けテキスタイル・衣料品の販売量増加（数量差）
 - (+)産業資材：人工皮革、生活雑貨の販売量増加（数量差）
 - (+)衣料繊維・産業資材：販売価格改定および販売構成改善（スプレッド差）
 - (-)拡販に伴う販管費等の増加（その他）

- +15
- (+)衣料繊維：中国向けテキスタイル・衣料品需要上振れ等（数量差）

◆セグメント別事業利益増減分析 ヘルスケア（前年度比、前回見通し比）

◆ 売上収益：1,350億円（前年度 1,447億円、前回見通し 1,400億円）、事業利益：60億円（前年度 182億円、前回見通し 70億円）

- 前年度比：固定費削減効果とCPAPレンタル台数およびオスタバロ販売量の増加も、ライセンス対価収入減少および薬価改定影響等により大きく減益の見通し
- 前回見通し比：後発品浸透加速等の影響に伴う医薬品販売量減で減益を見込む



事業利益の増減（億円）・要因

前年度比（売上収益▲97億円 事業利益▲122億円）

前回見通し比（売上収益▲50億円 事業利益▲10億円）

▲122

- (-)ライセンス対価収入の減少（前年度の導出一時金計上からの反動）
- (-)薬価改定影響
- (-)CPAP新機台投入、消耗品使用量増加に伴うコスト増
- (-)フェブリク、糖尿病治療剤等の販売量減少
- (+)CPAPレンタル台数・オスタバロ販売量の増加
- (+)収益性改善施策：固定費削減

▲10

- (-)後発品浸透加速等による想定以上の医薬品の販売量下振れ

◆セグメント別事業利益増減分析 その他（前年度比、前回見通し比）

- ◆ 売上収益：550億円（前年度 548億円、前回見通し 550億円）、事業利益：65億円（前年度 11億円、前回見通し 55億円）
 - 前年度比：電池部材・膜部門および埋込医療機器の販売好調等が再生医療の事業拡大に伴う費用増等をカバーし、前年度比増益を見込む
 - 前回見通し比：電池部材・膜部門での販売上振れ等により前回見通し比でも増益を見込む

事業利益の増減（億円）・要因			
前年度比（売上収益+2億円 事業利益+54億円）		前回見通し比（売上収益±0億円 事業利益+10億円）	
+54	(+)電池部材・膜部門、埋込医療機器：販売好調等 (-)再生医療・埋込医療機器部門：CDMO*1事業立ち上げ (+)持分法損益の改善	+10	(+)電池部材・膜部門：販売上振れ等 (+)固定費削減

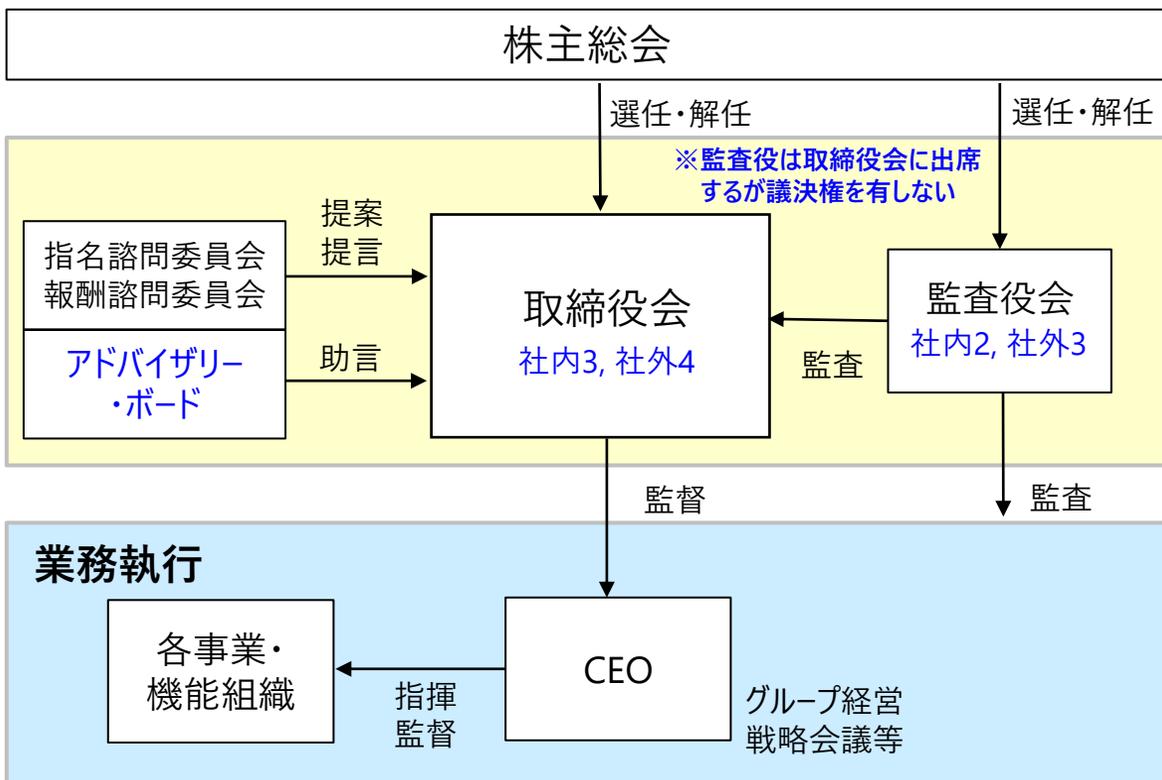
*1 Contract Development and Manufacturing Organization 製品の開発・製造を受託する機関

3 . ガバナンス体制の強化

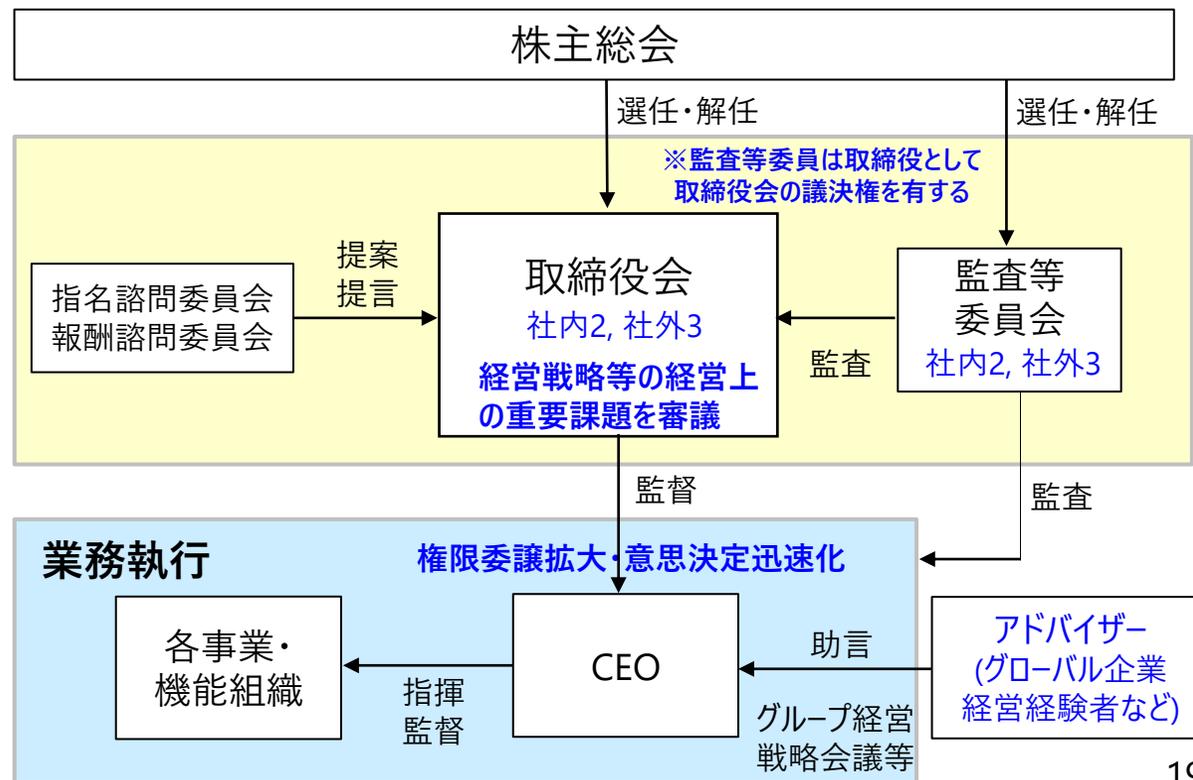
◆機関設計の変更

- 今中期経営計画で掲げた**グローバル企業に最適なガバナンス体制**として、**監査等委員会設置会社へ移行**することを決定
(25年6月開催予定の定時株主総会において定款変更等の関連議案承認後に移行)
- 業務執行の**決定権限の執行への委譲拡大**による執行における**意思決定の迅速化**や取締役会における**経営戦略等の経営上の重要課題の議論の一層の充実**を進め、**監督機能の一層の強化**することで、**モニタリング・ボード**としての深化を図る
- また、ガバナンス体制の見直しに伴い**アドバイザー・ボード**を**発展的に解消**する一方で、**グローバル企業経営経験者**などをCEOを中心とする経営陣に対する**アドバイザー**として、**多様な視点を担保**する

監査役会設置会社（変更前）



監査等委員会設置会社（変更後）



4. 参考資料

◆IFRSの任意適用について

- 2024年度より、IFRS任意適用を開始
- 経常的な事業収益を示す業績管理指標として、「事業利益」を設定

<IFRS適用後の連結損益計算書>

日本基準のPL表示	IFRSのPL表示
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費および一般管理費	販売費および一般管理費
営業利益	その他の収益および費用
金融収益および費用	営業利益
持分法による投資損益	金融収益および費用
その他営業外収支	持分法による投資損益
経常利益	税引前利益
特別損益	法人所得税
税金等調整前当期純利益	当期利益
法人税等	親会社の所有者に帰属する当期利益
当期純利益	非支配持分に帰属する当期利益
親会社株主に帰属する当期純利益	
非支配株主に帰属する当期純利益	

- **事業利益（当社任意の項目）**
営業利益に持分法による投資損益を加算し、非経常的な要因により発生した損益を除いて算出

日本基準の営業利益
+ IFRS適用による会計基準差
+ 金融収支除く営業外損益
+ 特別損益 ^{*1}
IFRSの営業利益
+ 持分法による投資損益
- 非経常的な要因による損益
事業利益

*1投資有価証券売却損益・評価損益除く

◆IFRSの任意適用について

■ IFRS適用による主な処理の変更（連結財務諸表）

項目	日本基準	IFRS
のれん	<ul style="list-style-type: none"> 定額償却 	<ul style="list-style-type: none"> 非償却
固定資産の減損	<ul style="list-style-type: none"> 減損の兆候がある場合、割引前将来キャッシュ・フローと帳簿価額を比較して減損の有無を判定 減損が必要と判定された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで引き下げて減損損失を計上 	<ul style="list-style-type: none"> 減損の兆候がある場合、帳簿価額と回収可能価額（割引後）を比較し、回収可能価額が帳簿価額を下回る場合には、その差額を減損損失で処理
研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 発生時に一時費用として処理 	<ul style="list-style-type: none"> 研究費：発生時に費用処理 開発費：一定要件を満たすものは資産として計上
政策保有株式の売却損益	<ul style="list-style-type: none"> 売却損益をPLに計上 	<ul style="list-style-type: none"> 売却損益をPLに計上せず、「その他包括利益」に計上
退職給付費用	<ul style="list-style-type: none"> 数理計算上の差異を費用として処理 	<ul style="list-style-type: none"> 数理計算上の差異を費用処理せず、「その他包括利益」に計上
オペレーティングリース取引	<ul style="list-style-type: none"> 資産・負債として未認識で、支払賃借料をPLに計上 	<ul style="list-style-type: none"> 資産・負債として計上し、償却費と支払利息をPLに計上

◆IFRSの任意適用について

◆2023年度実績値のIFRSへの変換

■ 日本基準（営業利益）とIFRS（事業利益）との差異 ※2023年度実績

(億円)

2023年度実績	営業利益 (日本基準)	事業利益 (IFRS)	差異	要因
マテリアル	-62	-17	+44	・ 固定資産減損 ^{*1} による償却費減少 (TAT-US) ・ のれん 非償却影響 他
繊維・製品	121	130	+8	
ヘルスケア	73	182	+109	・ ホルモン剤3剤の導入一時金の資産計上 他
その他	-8	11	+18	・ のれん 非償却影響 ・ 持分法による投資損益 他
消去又は全社	-85	-86	-0	
合計	40	220	+179	
IT	95	-	-	・ 連結子会社のインフォコム(株)の株式を全て売却することを決定した
再計	135	-	-	ことに伴い、IT事業を「非継続事業」に分類し、事業利益から除外

*1 IFRSにおける減損テストの結果、認識された減損額：約400億円

■ IFRS適用による主な処理の変更

- ・ 減損：減損の兆候が認められ、割引後の回収可能価額が簿価より低い場合、簿価を回収可能価額まで減額
- ・ 開発費の資産計上：一定の条件を満たす導入コストはすべて資産計上（承認後に償却開始）
- ・ のれん：非償却
- ・ なお、当社は持分法による投資損益を事業利益に含めている

◆財務健全性・株主還元方針

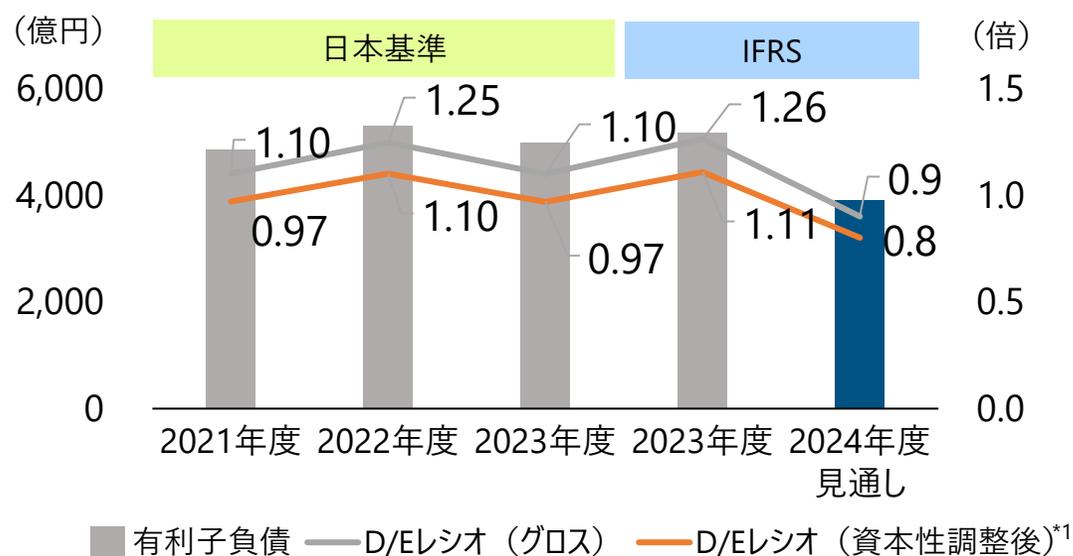
財務健全性

- D/Eレシオを改善し、財務基盤の再構築を目指す

株主還元方針

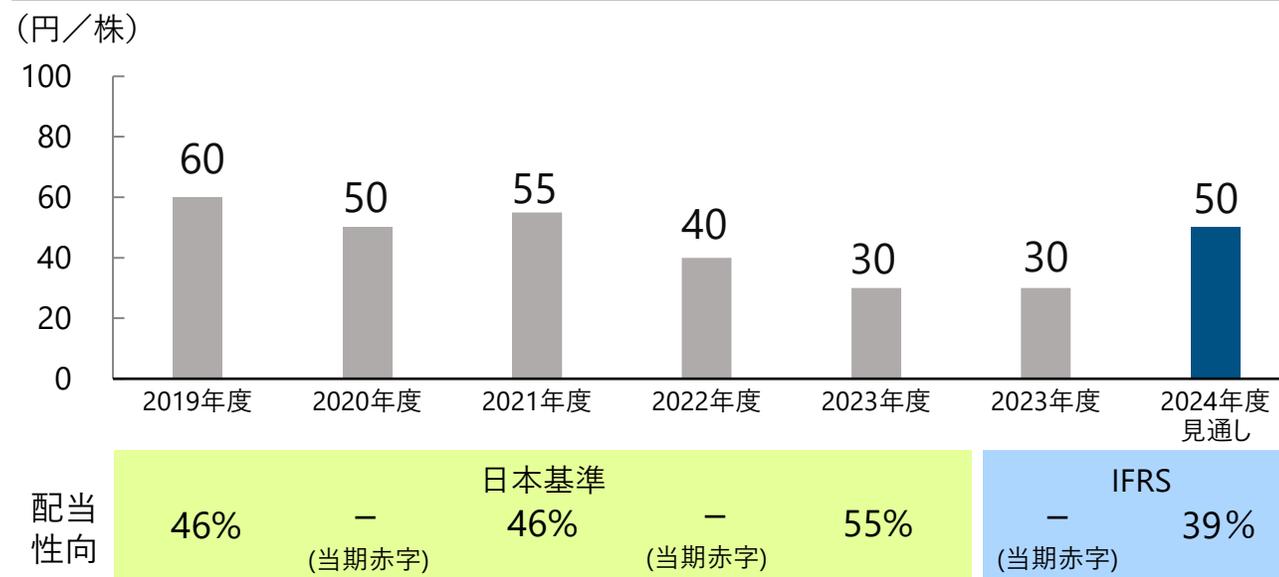
- 配当性向30%を目安に、「業績に連動した配当」を実施
- 「安定的・継続的な配当」に配慮
- 24年度の1株当たり年間配当金を年間50円（中間25円、期末見通し25円）と設定
- 25年度も安定的な配当水準の継続を目指す

有利子負債・D/Eレシオ推移



*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

一株当たり配当金推移



◆前提 [当社の主要ターゲット市場の動向（2024年度）]

事業		市場	主な地域	3Q累計実績	4Q見通し
マ テ リ ア ル	アラミド	自動車	欧州、米国	<ul style="list-style-type: none"> • 欧州は景気減速の影響を受け、需要が減少 • 米国は需要が概ね堅調 	
		産業資材	欧州、米国 中国	<ul style="list-style-type: none"> • 光ファイバー用途で需要が低迷 	
		防弾・防護	欧州、米国	<ul style="list-style-type: none"> • 防弾・防護ともに需要は堅調（但し、サプライチェーンでの生産能力制約で伸びは限定的） 	
	樹脂	電気電子	中国、アジア	<ul style="list-style-type: none"> • 中国の低調な需要が継続も、一部事務機用途で一時的に需要増加 	<ul style="list-style-type: none"> • 事務機用途での一時的な需要増加は解消、低調な需要が継続
		自動車	日本、中国 アジア	<ul style="list-style-type: none"> • 需要は概ね堅調（但し、日系自動車メーカーの販売苦戦により中国での需要は低調） 	
	炭素繊維	航空機	欧州、米国	<ul style="list-style-type: none"> • 旅客機需要は好調（但し、サプライチェーン上の調達制約により一時的に需要は小幅な伸びにとどまる） 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き需要は堅調に推移も、サプライチェーン上の調達制約が改善途上であり一部機種でビルドレート見通しを引き下げ
複合成形	自動車	米国	<ul style="list-style-type: none"> • 概ね堅調（但し、一部プログラムで需要減傾向） 	<ul style="list-style-type: none"> • 概ね堅調（需要減傾向にあった一部プログラムも改善の兆し） 	
繊維・製品	衣料繊維	日本、中国 米国、欧州	<ul style="list-style-type: none"> • 米国は堅調維持、中国はスポーツ中心に回復傾向 • 国内は一部在庫調整の影響を受けるも、堅調を維持 		
	産業資材	日本、中国	<ul style="list-style-type: none"> • 水処理フィルター需要は概ね堅調 • 中国での日系自動車メーカーの苦戦が継続 		

◆前提 [当社の主要ターゲット市場の動向（2024年度）]

事業	市場	主な地域	3Q累計実績	4Q見通し
ヘルスケア	医薬品	日本	<ul style="list-style-type: none"> •2024年10月から先発品と後発品の薬価差の一部を患者負担とする選定療養制度が開始。先発品のシェアは減少傾向 •痛風・高尿酸血症患者数は拡大基調だが、後発品参入や薬価改定による影響により市場規模（薬価売上）は縮小。後発品浸透加速により先発品には厳しい競争環境が継続 •PTH製剤*1市場が横ばいのトレンドが継続も、オスタバロは2023年12月からの投薬期間制限解除以降、シェアが徐々に拡大 	
			<ul style="list-style-type: none"> •DPP4阻害薬*2市場は微減も帝人のシェアは維持、厳しい競争環境は継続。DPP4阻害薬後発品が24年12月に販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> •DPP4阻害薬*2市場自体が漸減するトレンド継続に加え、DPP4阻害薬後発品の拡大が見込まれる
	医療機器		<ul style="list-style-type: none"> •在宅酸素療法（HOT）市場は横ばい 	
	<ul style="list-style-type: none"> •在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場は拡大継続、検査数も増加 			

*1 PTH製剤：骨形成促進作用を有する骨粗しょう症治療薬の一種

*2 DPP4阻害薬：インスリン分泌を調整する糖尿病治療薬の一種

◆前提 [損益影響要因]

◆ 定常的な損益影響要因

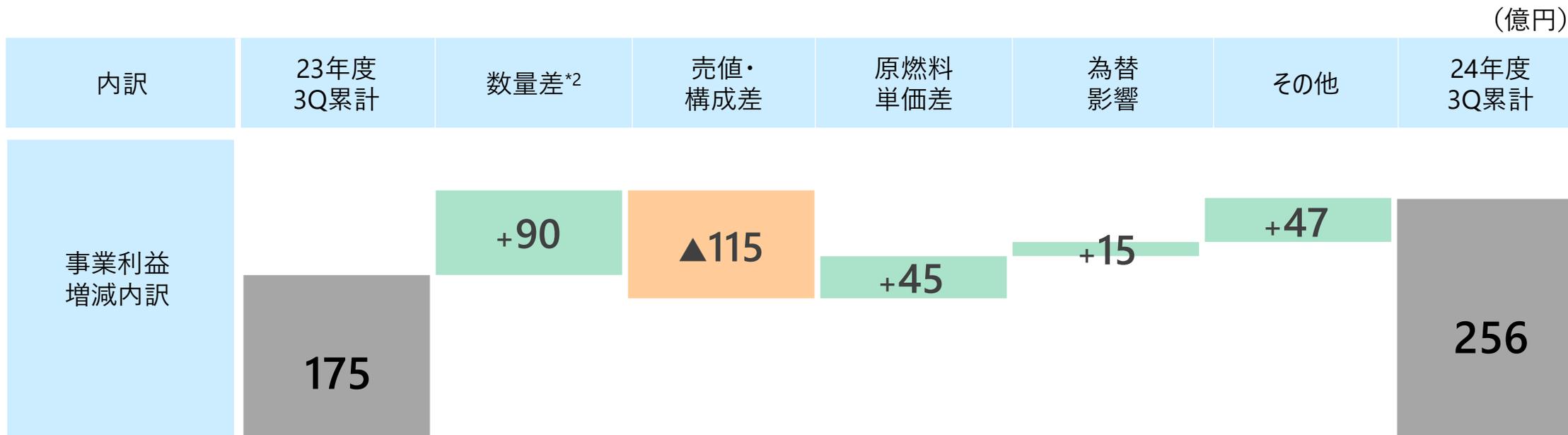
セグメント	主な要因
マテリアル	<ul style="list-style-type: none">アラミドの大型定修は3年に一度（次回は2025年度1Qを予定）樹脂は毎年2Q、3Qに定修
繊維・製品	<ul style="list-style-type: none">衣料関係は2Q～3Qが秋冬物、4Qが春物シーズン
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none">4Qに経費集中傾向

◆2024年度第3四半期実績 事業利益増減（連結合計） [前年同期比]

(億円)

	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率
売上収益	7,088	7,561	+473	+6.7%
EBITDA	752	796	+44	+5.8%
減価償却費 ^{*1}	589	544	-45	-7.6%
事業利益	175	256	+82	+46.7%
ROIC	1.8%	2.9%	+1.0%	-

*1 IT事業含む
*2 操業度差含む



◆2024年度第3四半期実績 セグメント別まとめ [前年同期比]

(億円)

	合計				マテリアル				繊維・製品			
	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率
売上収益	7,088	7,561	+473	+6.7%	3,213	3,424	+211	+6.6%	2,398	2,662	+264	+11.0%
EBITDA	752	796	+44	+5.8%	253	230	-23	-9.0%	158	209	+52	+32.8%
減価償却費	589 ^{*1}	544 ^{*1}	-45	-7.6%	266	211	-54	-20.5%	58	58	-0	-0.1%
事業利益	175	256	+82	+46.7%	-13	19	+32	-	100	151	+52	+51.9%
ROIC	1.8%	2.9%	+1.0%	-	-0%	1%	+1%	-	6%	9%	+3%	-

	ヘルスケア				その他			
	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	差異	増減率
売上収益	1,071	1,042	-28	-2.7%	407	433	+27	+6.6%
EBITDA	331	296	-35	-10.5%	42	102	+60	+144.2%
減価償却費	203	215	+12	+6.0%	33	35	+2	+5.9%
事業利益	128	80	-47	-36.9%	9	67	+59	+683.3%
ROIC	7%	4%	-3%	-	-	-	-	-

*1 IT事業を含む

◆2024年度第3四半期実績 セグメント別四半期推移 [前年度比、前年同期比]

(億円)

	23年度					24年度			差異	差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	24/3Q -23/3Q	24/3Q -24/2Q
売上収益										
高機能材料	607	651	655	710	2,623	713	675	643	-12	-32
複合成形材料	450	445	406	469	1,769	520	437	435	+30	-2
マテリアル 計	1,057	1,096	1,061	1,179	4,392	1,233	1,112	1,079	+18	-33
繊維・製品	761	827	810	819	3,217	830	909	923	+113	+14
ヘルスケア	358	349	364	376	1,447	354	339	349	-14	+10
その他	115	160	132	142	548	137	161	135	+3	-27
合計	2,291	2,431	2,366	2,516	9,605	2,553	2,522	2,486	+120	-36
事業利益										
マテリアル	-4	-20	12	-4	-17	24	-7	1	-10	+9
繊維・製品	34	41	24	30	130	44	57	50	+26	-7
ヘルスケア	52	38	37	54	182	36	18	27	-10	+9
その他	-11	16	3	2	11	22	32	12	+9	-20
消去又は全社	-23	-9	-16	-38	-86	-22	-18	-21	-5	-3
合計	48	66	60	45	220	104	82	70	+10	-13

◆2024年度第3四半期実績 連結損益計算書 [四半期推移]

	(億円)						
	23年度				24年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上収益	2,291	2,431	2,366	2,516	2,553	2,522	2,486
売上原価	-1,708	-1,932	-1,815	-2,042	-1,919	-2,370	-1,898
売上総利益	583	499	551	474	634	151	588
販売費および一般管理費	-538	-526	-551	-632	-559	-709	-539
その他の収益および費用	1	-1	82	9	5	0	-9
営業利益	46	-28	82	-149	80	-557	40
金融収益および費用	6	-16	-41	-4	-16	-33	4
持分法による投資損益	0	10	71	-29	19	-2	11
税引前四半期利益	53	-34	113	-183	84	-592	55
法人所得税	-39	-18	4	-50	-39	1	-43
非継続事業からの四半期利益	13	18	15	21	8	18	1,035
四半期利益	27	-34	132	-212	52	-573	1,047
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	21	-41	127	-224	45	-578	1,043
非支配分に帰属する四半期利益	6	7	5	12	8	5	4
営業利益	46	-28	82	-149	80	-557	40
持分法による投資損益 ^{*1}	0	9	3	2	19	12	11
非経常的な要因による損益	2	85	-25	192	4	628	19
事業利益	48	66	60	45	104	82	70
設備投資 ^{*2}	126	150	249	249	113	122	159
減価償却費 ^{*3}	195	195	199	191	193	180	171
研究開発費	75	76	80	96	73	76	70

*1 非経常的な要因により発生した損益を除いた額

*2 設備投資には無形資産の取得（M&Aは除く）を含む
（IT事業含む）

*3 IT事業を含む

◆2024年度第3四半期実績 連結貸借対照表 [四半期推移]

(億円)

	23年度				24年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産							
流動資産	6,605	6,768	6,596	6,256	6,975	6,603	7,155
非流動資産	6,277	6,242	6,253	6,010	5,916	5,105	5,038
合計	12,883	13,010	12,849	12,266	12,891	11,708	12,193
負債・資本							
負債	8,513	8,636	8,406	7,899	8,355	7,909	7,526
(内 有利子負債)	5,989	5,880	5,930	5,169	5,740	5,471	5,164
資本	4,370	4,374	4,443	4,368	4,536	3,799	4,667
合計	12,883	13,010	12,849	12,266	12,891	11,708	12,193

◆2024年度第3四半期実績 総資産内訳 [前年度末比]

	(億円)		
	24年 3月末	24年 12月末	差異
総資産	12,266	12,193	-73
現金及び現金同等物	1,232	2,096	+864
営業債権	2,226	1,781	-446
棚卸資産	2,340	2,423	+83
有形固定資産及び使用権資産	3,358	2,802	-556
のれん及び無形固定資産	1,496	1,295	-201
売却目的で保有する資産 ^{*1}	8	465	+457
その他	1,606	1,332	-274

*1 複合成形材料の北米事業を「売却目的で保有する資産」に分類

◆2024年度業績見通し セグメント別まとめ [前年度比]

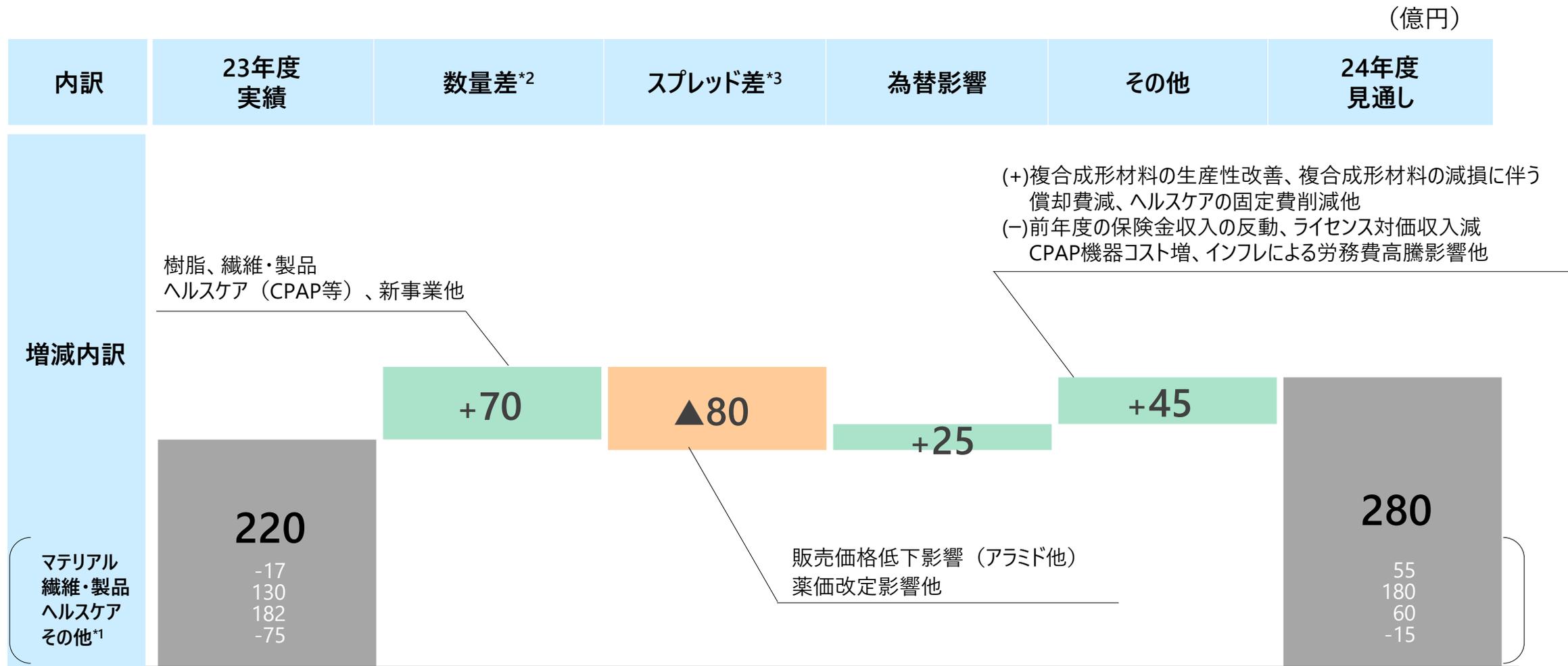
(億円)

	合計			マテリアル			繊維・製品		
	23年度 実績	24年度 見通し	差異	23年度 実績	24年度 見通し	差異	23年度 実績	24年度 見通し	差異
売上収益	9,605	10,100	+495	4,392	4,650	+258	3,217	3,550	+333
EBITDA	984	1,000	+16	329	340	+11	207	255	+48
減価償却費	780 ^{*1}	730 ^{*1}	-50	346	285	-61	78	75	-3
事業利益	220	280	+60	-17	55	+72	130	180	+50
ROIC	1.8%	3%	+1%	-0%	1%	+1%	6%	8%	+2%

	ヘルスケア			その他		
	23年度 実績	24年度 見通し	差異	23年度 実績	24年度 見通し	差異
売上収益	1,447	1,350	-97	548	550	+2
EBITDA	454	350	-104	56	110	+54
減価償却費	272	290	+18	45	45	+0
事業利益	182	60	-122	11	65	+54
ROIC	7%	2%	-5%	-	-	-

*1 IT事業を含む

◆2024年度業績見通し 事業利益増減要因 [前年度比]



*1 その他は「その他」および「消去又は全社」の合計としている
 *2 操業度差含む
 *3 売値・構成差 + 原燃料単価差

◆ 主要経営指標推移

	日本基準					IFRS	
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
ROE ^{*1}	6.3%	-1.7%	5.5%	-4.1%	2.4%	-2.9%	6%
営業利益ROIC ^{*2}	8.7%	8.6%	5.5%	1.6%	1.6%	-	-
ROIC ^{*3}	-	-	-	-	-	1.8%	3%
EBITDA ^{*4} (億円)	1,072	1,068	1,130	878	924	984	1,000
基本的1株当たり当期利益 ^{*5} (円)	131.6	-34.7	120.6	-92.0	55.1	-60.9	129.8
1株当たり配当金 (円)	60	50	55	40	30	30	50
フリー・キャッシュ・フロー ^{*6} (億円)	263	281	-1,087	27	234	288	1,300
設備投資 ^{*7} (億円)	686	603	2,008	625	669	774	600
減価償却費 ^{*6} (億円)	510	518	688	749	789	780	730
研究開発費 (億円)	345	327	333	319	426	327	310
総資産 (億円)	10,042	10,411	12,076	12,424	12,510	12,266	10,500
有利子負債 (億円)	3,819	3,800	4,852	5,294	4,989	5,169	3,900
D/Eレシオ ^{*8}	0.97	0.94	1.10	1.25	1.10	1.26	0.9
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*9}	-	-	0.97	1.10	0.97	1.11	0.8
親会社所有者帰属持分比率 ^{*10}	39.3%	39.0%	36.4%	34.2%	36.3%	33.4%	41%

*1 日本基準：「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

IFRS：「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金および預金)

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (投下資本 = 資本 + 有利子負債)

*4 日本基準：「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

IFRS：「事業利益 + 減価償却費」にて算出

*5 日本基準：1株当たり当期純利益

*6 IT事業含む

*7 設備投資には無形資産の取得 (M&Aは除く) を含む (IT事業含む)

*8 日本基準：「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

IFRS：「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出 (グロス表示)

*9 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*10 日本基準：自己資本比率

◆主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	23年度					24年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q
糖尿病治療剤四剤合計		63	58	61	47	228	55	50	53
ネシーナ®	2型糖尿病治療剤	31	28	29	23	111	27	24	26
イニシク®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	19	17	18	15	69	17	16	17
リオベル®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	8	7	8	5	28	7	6	6
ザファテック®	2型糖尿病治療剤	5	6	6	3	20	4	4	4
ソマチュリン®*1	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤 【希少疾病用医薬品】	15	15	17	14	61	15	16	18
ベニロン®	重症感染症治療剤 【希少疾病用医薬品】	14	14	16	11	55	16	16	17
ボナロン®*2	骨粗鬆症治療剤	16	16	17	13	63	15	14	14
オスタバロ®	骨粗鬆症治療剤	1	2	4	4	11	7	7	10
フェブリク®	痛風・高尿酸血症治療剤	20	21	20	12	74	13	12	9
ゼオマイン®*3	上下肢痙縮治療剤	5	5	6	5	20	6	6	7
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	4	5	4	18	5	4	5
ムコソルバン®	去痰剤	4	5	5	4	19	3	3	3

◆ ESG外部評価

GIPIFの以下ESG指数の構成銘柄に採用されています



FTSE Blossom
Japan Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社を組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MSCI ESG格付評価において最上位の「AAA」を獲得しました

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA **AAA**

日経SDGs経営調査で非常に高い評価を得ています

NIKKEI

SDGs

Management Survey 2024



・ 4分野全てにおいて「S以上」の高評価

SRI（社会的責任投資）
インデックスに組み入れられています



FTSE4Good

大和インターネットIR表彰において
優秀賞を受賞しました



ESGへの取り組みが優れている企業として、
2つの国内プログラムに選定されています

健康経営推進



スポーツエールカンパニー
(シルバー認定*)



* 認定回数7回～9回
の企業の呼称

TEIJIN